

平成 29 年度 文部科学省 私立大学研究ブランディング事業 選定
藻類成長因子を用いた海藻栽培技術 イノベーション

■ 第 1 回 研究発表会 プログラム ■

日時: 2018.6.23(土) 13:30~16:00 場所: 徳島文理大学 13 号館 4 階 東 大講堂

—— 発 表 演 題 ——

① 基調講演: ヒトエグサ(アオサノリ)の実プラント養殖試験の実施 山本博文准教授 薬品製造学(今川)

I. アオサノリなどの緑藻の効率的で安定的な通年陸上栽培システムの開発

② ヒトエグサの成長・ミネラル含量に及ぼす海水中ミネラルの影響 姫野誠一郎教授 衛生化学

③ ドラッグデリバリー技術を生かした海藻栽培用肥料のデバイスの開発

上田ゆかり助手 薬剤学(櫻井)

II. 種付け網を用いた沿岸養殖(従来法)への応用

④ 緑藻類胞子の養殖網への定着と発芽に影響する因子の解明とその最適化

箕田康一教授 理工学部

III. 新たな藻類成長因子の探索研究

⑤ 天然物ライブラリーの構築と天然物メタボロミクスを活用した藻類成長因子の探索

堂上美和准教授 薬品物理学(福山)

⑥ ヒトエグサおよびスジアオノリの成分探索

米山達朗助教 生薬学(梅山)

⑦ サルーシン結合タンパク質の検索

葛原隆教授 生化学

⑧ 単細胞性アオサ藻類培養株 unicellular-ulvophyte に対する Thallusin および新規化合物の影響

井上正久教授 機能形態学

⑨ 紅藻類にたいして成熟誘導活性をもつキラル化合物の探索

加来裕人准教授 薬品化学(角田)

⑩ 蘚苔類および合成天然物・中間体からの藻類成長および抑制成分の探索。

サルーシン生合成酵素遺伝子群の探索

浅川義範教授 生薬研究所

⑪ 藻類の成長因子に関与する遺伝子の網羅的解析

小林隆信助教 分子生物学

IV. 藻類の栄養価など付加価値の拡大と流通・宣伝戦略の確立

⑫ 肥満関連疾患に対するヒトエグサおよびスジアオノリの有効成分探索

川上隆茂助教 公衆衛生学(鈴木)

⑬ 青海苔が含有する EPA によるアルツハイマー病予防効果の検討

末永みどり講師 医療薬学(松永)

⑭ 藻類摂取による脳内炎症予防効果の検討

中島健太郎助手 生命物理化学(岸本)

⑮ アオサノリの食品機能性(栄養性、嗜好性、生体調節)の評価

近藤美樹准教授 人間生活学部

⑯ アオサノリの摂取が体格指標、臨床検査値に与える影響

小川直子講師 人間生活学部

⑰ インスリン抵抗性膵β細胞株などを用いたアオサノリの抗炎症効果の評価

坂井隆志教授 人間生活学部

⑱ 藻類の流通とブランドの相関関係の調査・検討—緑藻類の六次産業化を視野に—(動画)

(松村豊大教授) 総合政策学部

(主催 : 徳島文理大学 私立大学研究ブランディング事業 実施委員会 事務局: 内線 8465 小池晴夫)